

変わりゆく国際秩序の潮流

Diplomacy
外交

Vol. 95 2026 Jan./Feb.



今月の表紙

米国の「力の空白」でユーラシア・中東地域がクローズアップ。国同士の連絡で何が生まれるのか (AFP = 時事)

特別対談 ● 2026年の日本外交

「自由で開かれたインド太平洋」のさらなる推進を 茂木敏充(外務大臣) × 細谷雄一(慶應義塾大学)

6

揺らぐ国際秩序 誰がルールを構築するのか

座談会・石井正文(りそな総合研究所) × 松田康博(東京大学) × 森聰(慶應義塾大学) × 伊藤さゆり(ニッセイ基礎研究所)

「国家としての生存戦略」の模索 田所昌幸(国際大学)

対談・平岩俊司(南山大学) × 福田円(法政大学)

台湾と北朝鮮から東アジア情勢を見ると

東野篤子(筑波大学)

ウクライナ侵略を「凍結された紛争」にするな

インド太平洋有志国連合のダイナミズム 占賀慶(南洋理工大学)

COP30・国際規範化される気候ガバナンス 高橋若菜(宇都宮大学)

高市外務の始動 モンロー主義の米国と向き合う

北岡伸一(東京大学)

成長へ高市政権の役割は 官民協力と外交戦略

インタビュー・片岡剛士(PWCコンサルティング) × 飯塚恵子(読売新聞)

高市外交の始動 モンロー主義の米国と向き合う 北岡伸一(東京大学)

日本の成長戦略を問う

成長へ高市政権の役割は 官民協力と外交戦略

インタビュー・片岡剛士(PWCコンサルティング) × 飯塚恵子(読売新聞)

2026年、民主主義はどう展開するか 市原麻衣子(一橋大学)

極右政党はなぜドイツ社会に「定着」したか 板橋拓己(東京大学)

「代表の空白」を埋めたリフォームUKの躍進 若松邦弘(東京外国语大学)

モルドバから考える南東欧情勢 片山芳宏(前駐モルドバ大使)

タイ軍部・保守派の復権とナショナリズム 外山文子(筑波大学)

民主主義を脆弱化させる「情報空間」 加藤あかり(三義総合研究所)

Part2

分極化に直面する民主主義

140	132	126	120	108
-----	-----	-----	-----	-----

102	96	90	84	78	76
-----	----	----	----	----	----

Part3

地域連携は新しい秩序を生み出すか

地域連携は新しい秩序を生み出すか

144	119	27
-----	-----	----

「輸送回廊」から見る中東ユーラシア秩序のゆくえ

座談会・笠井亮平(岐阜女子大学) × 斎藤正道(中東調査会) × 中馬瑞貴(ロシアNIRS経済研究所) × 二船恵美(駒澤大学)

支援から参加へ 日ASEAN関係の変容と展望 鈴木早苗(東京大学)

「第1回「中央アジア+日本」首脳会合から 斎藤竜太(ロシアNIRS経済研究所)

対中央アジア外交草分け 日本の戦略は

— 第1回「中央アジア+日本」首脳会合から 斎藤竜太(ロシアNIRS経済研究所)

民主化とクーデター一つのミヤンマーと向き合う

インタビュー・丸山市郎(前駐ミャンマー大使) × 服部龍一(中央大学)

選挙という名の「利権配分」 戦後22年、イラク政治の現在地 吉岡明子(日本エネルギー経済研究所)

— 第1回「中央アジア+日本」首脳会合から 斎藤竜太(ロシアNIRS経済研究所)